

保護者の皆様

青森県立青森聾学校
校長 木村 禎子

令和6年度 学校評価結果の概要のお知らせ

向春の候、保護者の皆様にはますますご健勝のこととお喜び申し上げます。日頃より、本校の教育活動に深いご理解とご協力をいただき、感謝申し上げます。

さて、昨年12月に実施いたしました「学校評価の結果の概要」が下記のようにまとまりましたので、お知らせいたします。

学校評価の流れにつきましては、児童生徒、保護者に対するアンケート（学校・寄宿舎）を行い、その結果を踏まえ、教職員の自己評価を実施しています。また、2月に学校運営協議会において行われました学校関係者評価の結果もお知らせいたします。

記

1 学校評価の結果概要

(1) 児童生徒アンケート

①評価項目 11項目（学校及び学校生活について、授業について、先生について、学習態度・習慣について）

②評価 「はい」または「いいえ」等の2者択一（10項目）、記述（1項目）

③回収率 100%（幼児を除き14名）

④結果

		はい	いいえ
1	あなたは、学校が好きですか。	13	1
	〈はいの理由〉 ・友達と遊ぶのが楽しいから。 ・勉強が楽しいし、友達の会話も楽しいからです。 ・友達と遊べるから。 ・〇〇（生徒名）がいるから楽しい。 ・みんなと話したり、勉強することから。 ・友達や先生と話すのが楽しいから。 ・勉強は楽しいし、友達と話すのも楽しいから。 ・楽しいからです。 ・友達や先生と接すること。 ※「いいえ」と回答した児童生徒について、記入欄に「だいたいすき」と記入。		
2	あなたにとって授業はわかりやすいですか。	13	1
	どんな授業がわかりやすいですか。 【記入欄】 ・どうゆうふうに計算をすればいいか記入してわかりやすい ・社会と理科が難しい。文を読むのが分からない。 ・国語が一番わかりやすい。 ・算数、外国語、国語 ・英語、社会、理科 ・保体、社会、国語、数学、英語、理科、産業、道徳、総合、美術、家庭、自立、音楽、HR ・国語、家庭 ・すうがく ・イメージがつかないとき、例をたどって教えてくれると分かりやすい。 ・英語と国語が分かりやすい。		

3	教科書以外の本やインターネットなどを使って勉強することで、授業がわかりやすくなりましたか。	はい 1 3	いいえ 1
4	あなたは授業でわからないことがある時に先生に聞くことができますか。 ※「はい」と回答した児童生徒について、1名「教科の先生による」と記入	はい 1 4	いいえ 0
5	授業でわからない時、先生はそれに気付いたり、わかるかどうか確かめたりしてくれますか。 ※「はい」と回答した児童生徒について、1名「教科の先生による」と記入	はい 1 4	いいえ 0
6	宿題以外にも、本を読むなどいろいろな学習をするように、先生はあなたにすすめたり、その理由を説明してくれたりしますか。	はい 1 1	いいえ 3
7	給食や舎食での食事のマナーや栄養など食に関するメモは分かりやすいものでしたか。	はい 1 3	いいえ 1
8	あなたや周りの友達はいじめを受けていると感じることはありますか。 ※「はい」と回答した児童生徒について、「いじめ」を斜線で消し、「イタズラ」と記入	はい 1	いいえ 1 3
9	避難訓練を行うことで、避難の仕方をおぼえることができましたか。	はい 1 3	いいえ 1
10	健康（感染症対策を含む）や安全に生活するために、どうしたらいいかを知ったり、実際に守ったりすることができるようになりましたか。	はい 1 4	いいえ 0

⑤集計の概要

ほとんどの児童生徒が「学校が好き」と回答しています。「いいえ」と回答した児童生徒も「だいたいいすき」と記述しています。「好き」な理由として、友達や先生と過ごすことや勉強が楽しいと回答している児童生徒が多かったです。

「分かりやすい授業」について、「計算過程が書かれている授業」、「具体例を示す授業」が挙げられていました。「分からない授業」として、文章理解が難しい授業が挙げられていました。

⑥考察及び次年度に向けて

【考察】

・学校が楽しい理由について、「友達や先生と話す（遊ぶ、いる、接する）のが楽しい」「勉強が楽しい」と具体的に答えられていました。**「周囲とのよい人間関係」と「学ぶ楽しさ」が、学校が楽しい理由として重要**であることが読み取れます。

・どんな授業が分かりやすいかという質問に対し、教科名で答える児童生徒が多かったです。分かりやすい（分かりにくい）理由として、「計算過程が書かれている」「文を読むのが分からない」「具体例があると分かりやすい」等、具体的に示されており、指導の参考にしていきたいと考えます。

・いじめに関して、いじめではないがイタズラされていると感じている児童生徒がいました。引き続き相談カード、個別の相談週間の実施、休み時間の見守り等で留意していきます。

【次年度に向けて】

・学ぶ楽しさを追及していくことが必要だと考えます。→「分かる授業」、「協働的な学び」を推進します。

・一人一人の児童生徒にとって分かりやすい指導の工夫をしていくことが必要だと考えます。→「個別最適な学び」を追及し、**言語力の育成と学んだ言葉を日常的に活用する力の育成（生きて働く力）を目指します。**

・児童生徒の思いや願いがより把握できる児童生徒アンケートの質問項目の改善を検討します。

(2) 保護者アンケート

【学 校】

- ①評価項目 18項目（学習指導、生活指導、進路指導、PTA活動、安全・健康管理、環境・美化、学校徴収金の管理等に関する項目）
- ②評 価 4点満点
（4：そのとおりである 3：おおむねそのとおりである 2：やや違う 1：違う）
- ③回収率 100%（17名）
- ④結 果 ア 各項目の平均値の最高 3.7（R5年度：3.6）
イ 各項目の平均値の最低 3.3（R5年度：3.1）
ウ 全項目の平均値 3.5（R5年度：3.3）
- ⑤意見・要望

・PTA活動への参加が少ない。協力体制を強化したい。
・人工内耳、補聴器の取扱いを慎重にしてほしい。
・校地内の安全確保（保護者の幼児児童生徒に対するシートベルト着用、こどもの実態に応じて玄関まで保護者が同行）をしっかりと行ってほしい。
・こどもに対する声かけや会話を持つことが乏しく思う。個々の発達等に合わせて、学校全体で共通理解を図った対応をしてほしい。

⑥集計の概要

全項目の平均値は3.5であり、全体的に高評価でした。

項目5「学校の様子を分かりやすく伝えている」、項目7「お子さんは、学校が楽しいと思っ
ていると思う」、項目15「お子さんの健康に関する家庭連絡」、項目16「給食の安全な提供と食に関する情
報提供」に関する項目の平均値が3.6以上で高かったです。家庭との連絡及び説明が適切に行われて
いることが窺えます。

一方、3.3と比較的低かったのは、項目9「補聴器等の使用や管理」でした。自由記述にも丁寧な
取扱いを求める意見がありました。昨年度、平均に比べ低い評価だった項目11「進路指導や進路情
報」、項目12「いじめ防止と早期発見」、項目17「PTA活動」は改善傾向がみられました。進路
については、校長だよりで紹介したり、現場実習報告会を当該学部以外の保護者にも案内したり、外部
講師による進路に係る講演会等を実施したりしたことにより、一定の評価が得られたのではないかと
考えます。

⑦考察及び次年度に向けて

【考察】

・日々の「分かる授業」の展開や子ども同士や先生とのよい関わり等の積み重ねにより、子どもは学校
に楽しく通っており、学校での様子等について適切に連絡がなされていると感じている保護者が増え
たのではないかと思います。

・現場実習報告会での他学部保護者への周知や保護者向けの進路等に関する講演会実施、多くの保護
者と教職員の参加による家族レクの実施、事故防止のためのお知らせによる注意喚起、避難訓練や給
食、PTA活動の様子、あおろう100歳カウントダウン等のホームページでの積極的な発信等が、評
価の上昇につながったのではないかと思います。→保護者の皆さんが「参加する（しやすい）」機
会をつくること、「（口頭、お知らせ、通信、連絡帳、HP等で）目にする」機会をつくること、学校
理解につながり、信頼関係や協力体制の強化につながるのではないかと思います。合わせてそれら
に係る業務負担を増やさないための工夫（簡潔化・仕組化・自動化）も検討する必要があります。

・「補聴器等の使用や管理」について、研修の実施やヒヤリハットの共有、補聴器等に係る保護者への
連絡の徹底等を図る必要があります。

【次年度に向けて】

・引き続き一人一人に合った「分かる授業」の展開とこどもの成長の姿（〇〇をねらって、△△したと

ころ、□□ができるようになってきました等) を伝える機会をつくっていきたいと考えます。

・学校の方針に沿った取組や進路に関する情報、他学部の様子、全体連絡事項等を効果的に伝えるために、**学校だより発行を検討**します。

・PTA活動について、引き続き、活動内容や体制の在り方を、保護者の皆さんとともに検討します。

・補聴器等の使用や管理について、引き続き、留意点等の確認の機会やヒヤリハットによるヒヤッとしたことやハッとしたことの情報共有を推進していきます。

【寄宿舍】

①評価項目 14項目 (生活指導、安全・健康管理、環境・施設設備、帰省帰舎・緊急時の対応、徴収金の管理等に関する項目)

②評価 4点満点
(4:そのとおりである 3:おおむねそのとおりである 2:やや違う 1:違う)

③回収率 100% (10名)

④結果 ア 各項目の平均値の最高 3.8 (R5年度:3.7)
イ 各項目の平均値の最低 3.6 (R5年度:3.4)
ウ 全項目の平均値 3.7 (R5年度:3.5)

⑤意見・要望

今後の社会に出てからの事をふまえしっかり指導されていると感じます。又、連絡帳や、担当の先生と連絡がととてもとれる環境でありがたく感じています。今後ともよろしくお願いします。

⑥集計の概要

全平均がおよそ3.7と全体的に高評価でした。

これからも帰省・帰舎時の送迎のタイミングでの丁寧な説明や連絡帳の活用を継続して保護者との連携を図っていくことが必要だと考えています。寄宿舍は毎日部屋担当がいる訳ではないため、相談しやすいような信頼関係づくりを今後も継続していきます。

(3) 教職員の自己評価

【学校】

①評価項目 24項目 (指導力向上について、支援計画や指導計画について、キャリア教育について、センター的機能について、学校運営について)

②評価 4点満点
(4:そのとおりである 3:おおむねそのとおりである 2:やや違う 1:違う)

③回収率 100% (22名)

④結果 ア 各項目の平均値の最高 3.9 (R5年度:3.8)
イ 各項目の平均値の最低 2.8 (R5年度:2.8)
ウ 全項目の平均値 3.5 (R5年度:3.4)

⑤意見・要望

・アンケートや起案等でもっとペーパーレスを実施した方が良いのではないかと。

・キャリア・パスポートを積極的に活用することで、児童のニーズを把握したり掘り起こしたりできると考えるので、自分自身もう少し力を入れたいと思う。そのことが授業改善や児童の主体的な学びにもつながるとも思う。

・定期的な学部主任会議を設定して、学部間の共通理解や協力体制づくりをした方がいいと考えます。

【寄宿舍】

①評価項目 20項目 (指導力向上について、支援計画や指導計画について、キャリア教育について、センター的機能について、学校運営について)

②評価 4点満点
(4:そのとおりである 3:おおむねそのとおりである 2:やや違う 1:違う)

③回収率 100% (9名)

④結果	ア 各項目の平均値の最高	4. 0 (R 5年度：4. 0)
	イ 各項目の平均値の最低	2. 9 (R 5年度：3. 0)
	ウ 全項目の平均値	3. 4 (R 5年度：3. 6)
⑤意見・要望		

特になし

【学校】、【寄宿舎】の考察及び次年度に向けて

【考察】

- ・「キャリア・パスポート等を活用した幼児児童生徒が将来の夢や希望をもてるよう指導」については、一昨年度来の課題（昨年度評価2. 9）であったため、今年度は外部講師を招聘して研修会を実施しました。評価は改善傾向（今年度評価3. 1）にあります。
- ・寄宿舎における「こどもたちの話合いや協力」の低い評価については、舎生の減少や実態差等いくつかの要因が考えられます。しかし、舎生同士のかかわりが、充実した生活をする上で欠かせないと思われるので、ねらいや活動内容を焦点化して取り組んでいくことが必要と思われるます。
- ・「全職員の協力による学校づくり」に関して、学校、寄宿舎双方の課題として、「教員間の連携」「多忙化解消に向けた業務改善」が挙げられました。次年度以降の100周年記念事業や全日本聾教育研究大会（青森大会）を見据え、学校経営方針にある「学習活動の重点化」と「業務のスリム化」（こどもと向き合う時間確保のための余白づくり）を全職員で知恵を出し合い、具体的に改善を図っていくことが必要であると思われるます。

【次年度に向けて】

- ・具体的な業務改善の検討機会を設定します。→2月10日にワークショップ実施。
- ・チーム青聾として一丸となって協力していくための共通理解と協議の場の設定を検討します。

2 学校関係者評価

(1) 授業の充実について

聴覚障がい児が、社会でも胸を張って生きていくことができる教育が必要。何か問題が起こったときに、きちっと自分の言葉で話すことができることが大切。

(2) PTA活動について

保護者の方には、ぜひPTA活動に参加し、保護者同士で交流してほしい。私たちも一緒に頑張っていきたい。

※児童生徒、保護者アンケート、寄宿舎に対する保護者アンケート、学校自己評価、寄宿舎自己評価の集計結果をホームページに掲載しますので、御覧ください。